

令和7年度 未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書(報告書)

学校番号	5	学校名	甲府西高等学校	全・定・通	全	在籍生徒数	570	名
スクールポリシー (学力に関するもの)		・幅広く深い教養 ・物事を深く掘り下げ本質を粘り強く追究する、探究的に学びとろうとする力 ・自他を尊重し、多様な人々と協働できる力 ・挑戦する姿勢や信念をもち、自己の将来を自ら切り拓く力						
グラデュエーション ポリシー		「自主・自律の精神と創造性を尊び、幅広い知性と豊かな人間性の涵養を図るとともに、常に自己と社会をよく見つめ、高い理想のもと広く社会で活躍する人材を育成する」教育目標のもと、特にこれからの予測困難な時代に向けて、国際バカロレアの学習アプローチとICTの積極的な活用により、自ら課題を発見・設定、多様な他者と協働しながら知識を活用し、課題解決に取り組む力の育成を図る。						

生徒主体の授業への転換のための取組テーマ	
○	自ら自己調整をしながら学習を進めていくことができる自立した学習者づくり
	目標の実現に向けて生徒が自己選択や自己決定を行う機会の創出
	主体的・対話的で深い学びの視点による授業と評価の改善
	ICTの利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
	文理の枠を越えた教科横断的・総合的な探究課題への取組

具体的な取組
科目の学習と自己の生活の繋がりを理解させ、学習内容の日常化を図る(国語科)。ワークシートやプリント等の工夫(地公)。数学課題の問題数の3分の1は共通問題、3分の2は自由選択問題とする ・手帳を活用して学習時間を見える化して自己調整し学習する(数学科)。OPPを活用して自己の学びをメタ認知する・『学び合い』で、生徒自身が自分に合った学習法を選択する(理科)。GELP(AIが生徒の英語力や興味に合わせた最適化した学習を提案する学習支援サービス)を使用し、各生徒の英語力と関心に応じて最適化された4技能の学習を通して、自己の課題を把握させ、英語力向上を目指す(英語科)。ICTの利活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実(芸術)。生活に必要な知識・技能の習得のため、個別最適な学習の実施と共にICTの効果的な活用により生徒の学習を支援する(家庭科)。目標の実現に向けて生徒が自己選択や自己決定を行う機会の創出(保体)。課題解決に向けて主体的にICTを活用し、自らの考えや行動を評価・改善する学習活動を日常的に行う(情報科)。生徒が自ら想定する課題の解決に向けての論文作成に努める(総探)。

「生徒主体の授業への転換のためのアンケート」高評価数値の推移(%)	R7中間	R7末
(各校の授業アンケートに基づく)		
1.自ら学習課題や学習方法を選択して自主的、自発的に学習に取り組むことができた (①強くそう思う, ②そう思う)		
2.活用や探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた (①強くそう思う, ②そう思う)		
3.授業や単元の始まりに目標を確認することができた (①強くそう思う, ②そう思う)		
4.授業や単元の終わりに目標の達成度を自己評価することができた (①強くそう思う, ②そう思う)		
5.授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた (①強くそう思う, ②そう思う)		
6.授業の中で課題解決に向けて自分から取り組んでいる (①強くそう思う, ②そう思う)		
7.授業の中で各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った (①強くそう思う, ②そう思う)		
8.他の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた (①強くそう思う, ②そう思う)		
9.学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた (①強くそう思う, ②そう思う)		

総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の取組を含む)

各教科の取組		※左欄の取組テーマの実践を通して各教科の資質・能力を育成する。			
教科	生徒が身に付ける資質・能力	中間評価	年度末評価	課題解決のための次年度の取組	
国語	高い理解力と批判的思考力				
	自己の考え・表現を捉え直す力				
	自己の思考を論理的に他者に伝える力				
地公	単元の中で、自身が重要だと判断した社会事象をどう身につけ、生かしていくかを計画する。				
	単元の中で、自身が関心を持った社会事象について、調べ、まとめる。				
	単元の中で授業に対する自分自身の姿勢や取り組みの成果を振り返り、評価をする。				
数学	日常の事象を数学的に捉え、多面的に考察できる				
	数学を活用して事象を論理的に考察する				
	粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断できる				
理科	リサーチ力				
	コミュニケーション力				
	社会性				
英語	自己の解決すべき課題を把握できる。				
	自己の課題解決のための計画が立てられる。				
	向上心を持って発展的なことに取り組もうとする。				
芸術	自らの表現のために必要な情報を取捨選択することができる。				
	意見交換の際、共同編集アプリを有効に活用し、他者の意見から多角的な視点に気づくことができる。				
	AIの適切な利用により、アイデア創出のヒントを得る。				
家庭	生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な基本的な知識と技能を身に付けることができる。				
	他者の考えを受け入れ、課題の解決策を構想し、自己の意見や考えを倫理的に表現することができる。				
	主体的に生活課題を見つけ、他者と協働し、探究的・実践的に創造しようとする。				
保体	運動・保健の合理的、計画的な実践を通じて、心と身体を一体として捉え、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付ける。				
	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、その合理的、計画的な解決に向けて思考したり、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりすることができる。				
	運動における競争や協働の経験を通じて、一人一人の違いなどを大切にしようとする資質を身に付けると共に、健康・安全を確保しながら運動を実践できるようにする。				
情報	情報デザイン、プログラミング、データサイエンス等の理解を深め、技能を習得し、問題解決や意思決定に活用する力を養う。				
	問題の発見や解決に向けて、試行錯誤と振り返り及び改善を行い、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。				
	情報と情報技術を活用する活動の中で、情報モラルや情報セキュリティを確保する主体的な態度を養う。				
総探	現代社会に対する関心を高め、問題点を抽出し、その問題を解決するための仮説をつくり、それを実証する能力。				
	課題設定―仮説立証までの過程を論文にまとめ上げる能力。				
	課題解決のための論文に基づき、それをポスター・スライドのまとめてプレゼンテーションできる能力。				